

Case : 149

階段を踏み外し、転倒しそうになる

場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



利用シーン	 移動  階段の昇り降り
主な利用場所	 階段  玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183015 (携帯用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

この事例のようなレール形のスロープで起こり易い事例です。スロープで段差を下りる場合、介助者は後ろ向きになることが基本となりますが、レール形のスロープでは、足元が狭くまた見づらいために注意が必要です。車いすの手押しハンドルにブレーキが付いていると、介助にも少し余裕が生まれます。介助力と段差の高さに合わせ、スロープの形態や車いすの機能を選定しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：スロープにタイヤを乗せることに気をとられていた
- 人：足元をよく見ていなかった
- モノ：短めのスロープで、角度が急だった
- 環境：敷地の関係で、緩やかな長めのスロープを利用できなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 149

階段を踏み外し、転倒しそうになる

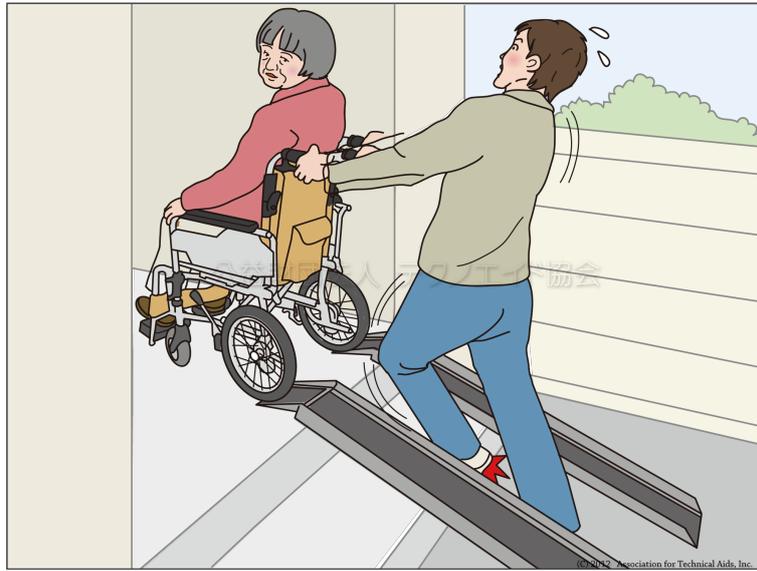
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ